

赤相地域（赤穂市・上郡町・相生市）

令和7年

水稲病虫害防除情報

第3号（8月29日発行）

発行者	兵庫県農業共済組合赤相事務所	(0791) 45-1101
連絡先	光都農業改良普及センター	(0791) 58-2209
	兵庫西農業協同組合	
	西播磨営農生活センター	(0791) 52-2224
	相生市農業協同組合	(0791) 22-0676

1 水稲の生育状況・病虫害発生状況

7月下旬以降の気象状況は、平年に比べて、平均気温は高く、日照時間は多く推移し、降水量については、8月中旬にまとまった降雨があったものの、全体としては少ない量となりました。気象庁による今後1ヶ月間の予報でも同様の傾向が続くとされています。5月下旬、6月上旬移植では、草丈は平年並みで、茎数はやや多く推移しています。

▶生育調査結果（8月26日調査）

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数 （本/株）	備考
ヒノヒカリ（赤穂市高雄）	121.4（穂長17.4）	穂数21.1	移植日 6月7日
キヌヒカリ（相生市森）	稈長69.8 穂長15.7	穂数23.4	移植日 5月29日
ヒノヒカリ（上郡町大枝）	稈長87.9 穂長18.7	穂数27.8	移植日 6月9日

▶病虫害調査結果（8月26日調査）

病虫害名	調査結果の概要
いもち病	各地で発生していますが発病程度は少ないです。
紋枯病	一部で発生しています。
縞葉枯病	今回の調査では確認していません。
ウンカ類・ツマグロヨコバイ	各地で発生しています。
カメムシ類	各地で発生しており、発生程度は前回よりやや多いです。
イネカメムシ	各地で発生しています。

2 病虫害の防除

ほ場を確認し、カメムシが見られる場合は防除してください。又、坪枯れの発生が見られた場合も、速やかに防除してください。

病虫害	薬剤名	使用基準
ウンカ類 カメムシ類	トレボン乳剤	収穫14日前まで 3回以内
	トレボン粉剤DL 又はスタークル液剤10	収穫7日前まで 3回以内

※薬剤は使用量等登録内容を十分確認し適切にご使用ください。

※薬剤に関する詳細は、光都農業改良普及センター、兵庫西農業協同組合、相生市農業協同組合（上記連絡先）までお問い合わせください。

3 その他

①キヌヒカリ等極早生品種の収穫は、刈り取り適期幅が狭いので、刈り遅れないように注意しましょう。

②早期落水による田面の過乾燥は、登熟不足や胴割れ、乳白米の原因となりますので刈り取りの7～10日前まで適度な湿りを保ちましょう。

農薬の飛散防止に努めましょう。作業中の熱中症対策を忘れずに！

令和7年度 第3回

水稲病害虫発生状況調査 結果一覧表

調査日：令和7年8月26日

天候： 晴れ

兵庫県農業共済組合 赤相事務所

	調査 地区名	調査圃 作付品種	調査圃 田植日	病害(抽出25株中の発病株数)								害 虫 発 生 状 況								その他	
				葉いもち		穂いもち		紋枯病		縞葉枯病		ツマグロ ヨコバイ	ヒメトビ ウンカ	セジロ ウンカ	トビイロ ウンカ	バッタ類	フタオビ コヤガ	カメムシ	イネ カメムシ	箱施用剤	備考
				発病 株数	発生 程度	発病 株数	発生 程度	発病 株数	発生 程度	発病 株数	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	発生 程度	有・無	
赤 穂	新 田	きぬむすめ	6/13					1株	少				中	少				多	少		
	高 雄	ヒノヒカリ	6/7					2株	少				中					中			
	西有年	きぬむすめ	5/28	4株	少								中	中		少		少	少		
	有年原	ヒノヒカリ	6/7					3株	少				多	少							
上 郡	宇治山	ヒノヒカリ	6/7	1株	少							少	少	少					少		
	金出地	コシヒカリ	4/28	16株	少							少	中	少				中			
	大 枝	ヒノヒカリ	6/9	3株	少							少	少	少				中			
	上栗原	きぬむすめ	6/7	15株	少								中	少							
相 生	那波野	きぬむすめ	6/8									少	少	少		少		少			
	野々	ヒノヒカリ	6/16									少		少							
	森	キヌヒカリ	5/29										多	少					中		

※ 発生程度は、無、少、中、多、甚の5段階評価です。 (病気の発生程度は病斑の進行具合により評価しています。)